

「平成維新東京」の各種活動状況

【A】財務会計（担当・神村知行）1997/02/22現在
入金：前期繰越 777,519 出金：会報発行 746,477
会費収入 699,000 その他経費 26,823
協力金 64,000 合計 773,300
総会会場費41,000
会報売上 7,400 残高：郵便局 544,400
預金利息 121 さくらBK 271,340
合計 1,589,040 合計 815,740

※会報発行のうち郵送費@90円×2932通=263,880円
会報8ヶ月分。会員数348名、今期入会23名、
退会9名。11月会員の未更新者58名は実質退会と
して今後会報発送中止。更新者2年度223名、3
年度30名、4・5年度8名、合計261名。

【B】平成維新東京協賛入金状況（治田桂四郎）
江頭清昌（25口）・小枝尚（5口）・杉原健児（15
口）・土屋光彦（5口）・門叶和雄・長妻昭・長妻
謙三郎（2口）・中村文男・榊花輪（75口）・原澤達
夫・治田桂四郎（15口）・松井孝司（4口）・山崎
康彦（2口）。（ ）内は、2口以上の口数。

以上、13名・1口1000円・152口・304,000円。

他に首都圏道フォーラム21からの残金6029円。

【C】ガラガラにっポン1月定例会（原暁美）

ガラガラにっポン2月定例会報告

日時：2月22日（土） 10：00～12：00

場所： 新宿歌舞伎町ルノアール会議室

出席者： 7名

議題：

1. 都議選について

1)女性候補を優先したいがなさそうなので都議養
成講座のなかから選ぼうか

2)ガラガラにっポンとしての選挙に対するガイド
ラインをどうするか

3)3月定例会までにガイドラインを考えてくる。

2. 名簿を作り替える

正会員 26人 賛助会員 14人

パソコンセミナー参加者 3人

3. 即反応、即発信プロジェクト

第1回情報公開要綱案（大崎）

ガラガラにっポンの会の説明、平成維新憲章を
添えて各政党、情報公開法を求めている市民団体
に発信。ガラガラにっポンの行動をとマスコミに
発信。マスコミに対して力を持っている個人（ニ
ュースキャスターなど）にも発信。

【D】大前研一通信購読者拡大委員会（治田桂四郎）

| 【大前研一通信・購読会員申込案内】 |
| 「1. 郵送 2. パソコン通信」の別を記入。 |
| 郵便口座番号：00110-3-709334 |
| 振込名称：大前研一通信。 年会費：1万円。 |
| 問合せ先：TEL 03-3263-2411 FAX 03-3263-2430 |

首都圏市民会議議事録

【日 時】1997年2月15日（土） 17：00～19：00

【場 所】お茶の水ルノアール

【出席者】千葉／高橋代表、埼玉／松田副会長・辻
事務局次長、東京／江頭代表・山崎副代表幹事、神
奈川／萩野谷（事務局長）

【議 事】

【1】情報公開法シンポジウム

今後の活動の最重要の柱である情報公開法による
行政監査活動の推進について、パネラーを招いての
市民討論会を開催することが正式に決まった。当日
の講演内容及びポイントについては、山崎康彦、辻
哲也が各氏と事前に打ち合わせることとなった。

●シンポジウム「情報公開法をめぐる市民討論会」

－その概要と早期立法化に向けての戦略－

日時：3月23日（日）17：30～21：00

場所：JR総武線錦糸町駅前丸井百貨店9F

墨田産業会館会議室

パネラー：奥津茂樹氏

（情報公開を求める市民運動事務局）

枝野幸男氏

（衆議院議員・民主党政調会長代理）

主催：首都圏市民会議協賛：ガラガラにっポン

形式：パネラー講演ののち、質疑応答および会場

参加者とのディスカッション

参加費：資料代 500円

なお、上記シンポジウムの事前準備打ち合わせを兼

首都圏市民会議事務局長 萩野谷 敏 明

ねた、関係者による勉強会を行うこととなった。

【2】今回の選挙はおかしいぞ市民討論会

フォローアップ

フォーラムにアップしたり各会に配布した、自治
省・各党申し入れ案に対するコメントが少なく、具
体的な選挙の声を聞くまでは一般の熱が上がらない
のではないかと報告がなされた。当面は1)一票
の格差是正、2)重複立候補制度の廃止、3)供託
金引き下げによる誰でも立候補できる制度の実現、
の3点で問題意識を同じくする他の市民団体との連
絡調整・意見交換を促進することで合意した。

【3】ホームページ作成

懸案の首都圏4団体共通のホームページ作成につ
いて、東京の望月氏から費用見通し・接続方法につ
いて提案が出されていた。このことで各会の見解が
出され、その有用性についてはいずれも依存がない
ものの、千葉・埼玉・神奈川はまだ継続的な費用の
負担について会のコンセンサスが得られていない旨
表明した。但し、今後活動成果のリンクアップは、
問題意識を同じくする他の団体・個人との協力促進
に欠かせない重要ツールであるので、引き続き検討
事項とされた。

【4】その他

平成維新千葉の会員数について、前回の議事録が
総会前の140人になっているので、今後は100名の
数字を採用することとした。